

別添資料

1. 平成21年のトキの繁殖ペア

前年の16ペアのうち2ペアを解消し、佐渡トキ保護センターの繁殖可能個体より新規に4ペアを形成し（S、T、U、Vペア）、全18ペアで繁殖に取り組みました（表1）。

繁殖の方針としては、野生下放鳥に伴う飼育個体数の減少によって今後の飼育下繁殖に不都合が生じることはないよう、健全な個体を数的に確保することを最優先としました。ペア毎では下記（表1）の方針で取り組むこととしましたが、各ペアや全体の繁殖状況等を考慮しながら対応しました。

（表1）平成21年の繁殖ペア ※印は新規ペア

ペア	場所	繁殖方針	個 体 番 号	
			♂	♀
A	センター	人工孵化	17（友友）	16（洋洋）
B	センター	人工及び自然孵化	19（優優）	18（美美）
E	センター	人工孵化	27	40
F	センター	自然繁殖	20（新新）	48
G	多摩	人工及び自然孵化	28	23
I	センター	人工及び自然孵化	33	52
J	ST繁殖	自然繁殖	71	32
K	多摩	人工及び自然孵化	34	58
M	センター	人工及び自然孵化	80	36
N	ST繁殖	自然繁殖	37	68
O	センター	人工及び自然孵化	39	100
P	ST繁殖	自然繁殖	96	53
Q	センター	人工孵化	153（華陽）	54
R	センター	人工孵化	82	154（溢水）
S※	センター	人工及び自然孵化	35	104
T※	センター	人工及び自然孵化	86	115
U※	ST繁殖	自然繁殖	106	129
V※	ST繁殖	自然繁殖	62	26

2. 繁殖結果

（1）産卵状況

3月18日の初産卵（Pペア）から、6月1日の最終産卵（Mペア）までの76日間に、Tペアを除いた17ペアから合計113個の卵が産まれました。

1ペア当たりの産卵数は6.3個（平成20年：6.4個）で昨年並みとなりました。

また、113個の卵のうち、産卵直後に破卵した14個の卵を除く99個について検卵を行った結果、有精卵は61個、無精卵は38個と判定されました。

なお、今年度は順化ケージ内では営巣、産卵はみられませんでした。

（2）孵化状況

61個の有精卵から自然孵化で10羽、人工孵化で36羽、合計46羽のヒナが孵化しました。残りの15卵については、6卵が発育中止、9卵は抱卵中もしくは自然孵化直前の破卵により孵化に至りませんでした。個体数確保の理由から人工孵化に積極的に取り組んだため、孵化率は75.4%と昨年を大きく上回りました（平成20年：61.7%）。

(3) 育雛状況

自然孵化した10羽のヒナのうち、1羽が自然育雛中に巣から落下して死亡（Pペア）、1羽が虚弱体質のため死亡（Bペア）したほか、人工孵化した36羽のうち1羽が自然育雛への移行時に親によって巣から落下し死亡（Fペア）しました。

43羽のヒナが順調に成育しており、このうち41羽は無事巣立ちしています。

(4) 飼育下での自然繁殖の状況について

自然繁殖に成功したペアは18ペア中4ペア（B、I、N、Pペア）となり、Bペアについては4年連続で飼育下での自然繁殖に成功しています。

また、自然育雛については上記4ペアの他、9ペア（A、E、G、K、O、Q、R、S、V）が成功しています。

(表2) 各ペア（18ペア）の繁殖の状況

ペア	場所	産卵数	有精卵				無精卵	不明卵 (破卵)
			自然孵化	人工孵化	発育中止	破卵		
A	センター	4		1			3	
B	センター	8	3(死亡1)	4		1		
E	センター	7		1	2		4	
F	センター	6		2(死亡1)		2		2
G	多摩	8		4	1		3	
I	センター	4	1			3		
J	ST繁殖	7					1	6
K	多摩	8		6	1			1
M	センター	12		9		1	2	
N	ST繁殖	4	2			1	1	
O	センター	8		1			7	
P	ST繁殖	4	4(死亡1)					
Q	センター	10			1		9	
R	センター	5		5				
S*	センター	7		1			3	3
T*	センター	0						
U*	ST繁殖	4		2			1	1
V*	ST繁殖	7			1	1	4	1
計		113	10(死亡2)	36(死亡1)	6	9	38	14

※印は新規ペア

3. 我が国の飼育下におけるトキの個体数（7月29日現在）

平成21年の繁殖期は、合計43羽のトキが成育し、成鳥110羽とあわせ、我が国の飼育下におけるトキの総個体数は153羽となりました。

- 佐渡トキ保護センター : 105羽（うちH21生 27羽）
- 同センター野生復帰ステーション : 34羽（うちH21生 6羽）
- 多摩動物公園（東京都日野市） : 14羽（うちH21生 10羽）
- 合計 153羽（うちH21生 43羽）



[参考1]

トキの繁殖実績

平成21年7月29日

	繁殖ペア数 (A)	産卵数 (B)		有精卵 (C)	無精卵	不明卵	ふ化数 (D)	
		1ペア平均 (B/A)	ふ化率 (D/C,%)					
H11	1	4	4. ⁰	2	1	1	1	50. ⁰
H12	1	10	10. ⁰	2	8	0	2	100. ⁰
H13	2	17	8. ⁵	15	1	1	13	86. ⁷
H14	2	21	10. ⁵	18	3	0	14	77. ⁸
H15	3	33	11. ⁰	20	6	7	19	95. ⁰
H16	5	34	6. ⁸	25	8	1	22	88. ⁰
H17	7	42	6. ⁰	27	13	2	22	81. ⁵
H18	9	46	5. ¹	30	3	13	23	76. ⁷
H19	11	54	4. ⁹	30	13	11	18	60. ⁰
H20	20	121	6. ¹	55	43	23	31	56. ⁴
順化ケージ除く	16	102	6. ⁴	47	40	15	29	61. ⁷
H21	18	113	6. ³	61	38	14	46	75. ⁴
計 (又は平均)	79	495	6. ³	285	137	73	211	74. ⁰

※平成20年は多摩動物公園での繁殖実績及び野生復帰ステーションでの実績を含む。



[参考2]

飼育下におけるトキの個体数の推移

平成21年7月29日

年	個体数	増加	増加		減少	減少		
			ふ化数	受入数		放鳥数	中国への移送数	死亡数
H10	1	—	—	—	—	0	—	—
H11	4	3	1	2	0	0	0	0
H12	7	3	2	1	0	0	0	0
H13	18	13	13	0	2	0	0	2
H14	25	14	14	0	7	0	2	5
H15	39	19	19	0	5	0	3	2
H16	58	22	22	0	3	0	0	3
H17	80	22	22	0	0	0	0	0
H18	97	23	23	0	6	0	0	6
H19	95	20	18	2	22	0	13	9
H20	112	31	31	0	14	10	0	4
H21	153	46	46	0	5	0	0	5
(増減の)計	—	216	211	5	64	10	18	36

※個体数欄は、各年12月末における個体数(ただし、H21は表作成日における個体数)。
 ※増加および減少欄は年間(1月～12月)の個体数の増減を表す。



[参考3]

トキの生年別飼育状況

平成21年7月29日

ふ化年	繁殖ペア数	ふ化数	ふ化個体の現状			
			飼育中(注1)	中国への移送(注2)	ふ化後死亡(注3)	放鳥
H11生まれ	1	1	1	0	0	0
H12生まれ	1	2	2	0	0	0
H13生まれ	2	13	7	2	4	0
H14生まれ	2	14	6	3	5	0
H15生まれ	3	19	9	4	6	0
H16生まれ	5	22	14	4	4	0
H17生まれ	7	22	17	2	0	3
H18生まれ	9	23	10	2	6	5
H19生まれ	11	18	11	1	4	2
H20生まれ	20	31	28	0 (4羽を移送予定)	3	0
H21生まれ	18	46	43	0 (6羽を移送予定)	3	0

注1: 当該年に生まれた個体のうち、現在も佐渡トキ保護センター及び多摩動物公園で飼育されている個体数。

注2: 当該年に生まれた個体のうち、中国に移送された個体数。

注3: 当該年に生まれた個体のうち、我が国において既に死亡した個体数。



トキと共に守る自然